

---

 記 事
 

---

◎第9回理事会(昭.31.2.21)出席者:藤井,種谷副会長,山本,江里口,柴橋,星埜,後藤,河北,阜山の各理事,中川書記長,朝倉,捧箸,堀内の各主任。議事:1)1月中行事その他報告,2)第7回工学会大会土木部会予告案について,3)各支部に今回は割当を行わないが関東地区のみは本部で大体の目安を決めた。4)見学先について,5)昭和31年度予算案について,6)広告取扱者死亡につき交替すること,7)日本学術会議溶接研究連絡委員会分担金については他学協会と歩調を合わせること,8)委員会委員追加(会誌編集委員会:和仁達美君後任に梅木一郎君,コンクリート示方書改訂委員会:新妻幸雄君,武部健一君,星野哲三君,溶接鋼鉄道橋示方書委員会:村上永一君,同幹事に松崎彬磨君),9)夏季講習会について,10)編集部内規および委員会内規の制定,11)学会誌の表紙図案について,12)通常総会および講演会次第書を別途会員に通知することは経費の点を考究して実施,13)水理委員会のなかに水理公式集委員会を設置し公式集の改訂を行う。

(委員長)本間 仁,(委員)河川:○吉川秀夫,渡辺隆二,坂野重信,竹内俊雄,荒木正夫,椿 東一郎,福岡正己,発電水力:○市浦 繁,中山謙治,岡田篤也,鈴木 笠,林 泰造,嶋 祐之,上下水道:○左合正雄,岩塚良三,大井上 宏,徳平 淳,合田 健,二階堂 弘,港湾:○浜田徳一,井島武士,岩垣雄一,岸 力。

14)会員の入退会承認。

## ◎各種委員会

1. 第1回論文集編集委員会(昭.31.2.16)出席者:星埜編集部長,岡本,久保,三浦,村上,本間,林,岸,石上,伊丹,市原,白石,佐島,大串,三野,春日屋の各委員,中川書記長,徳平幹事,岡本,佐伯編集部員。議事:1)星埜編集部長から経過説明,2)本委員会内規の原案を審議の結果これを確認し,委員会の構成を決定した,3)4部会の部会長互選の結果次のとおり決定(1部会)岡本舜三君,(2部会)本間 仁君,(3部会)星埜 和君,(4部会)佐島秀夫君,4)各部会の幹事は(1部会)久保慶三郎君,(2部会)林泰造君,(3部会)白石俊多君,(4部会)春日屋伸昌君,5)4月発行論文集の登載論文を予定,6)受付論文の審査部会決定。

2. 第2回会誌編集委員会(昭.31.2.17)出席者:星埜編集部長,糸川,後藤正副委員長,左合抄録委員長,成岡地方委員,森,林,針ヶ谷,尾藤(代樋口),猪股,松本,八十島,小林,栗栖,西畑,竹下,安河内,安藤の各委員,深谷幹事,中川書記長,岡本編集部員。議事:1)各号担当小委員の割振,2)審査原稿の審議,

3)4月および5月号の登載原稿内定,4)依頼原稿について,5)常置委員会の運営について,6)4月号表紙図案について投票の結果,当選1点,佳作2点を採用し,理事会にはかることとした。

3. 会誌編集小委員会(昭.31.2.8)出席者:後藤副委員長,猪股,尾藤(代樋口)委員,徳平幹事,岡本編集部員。議事:第41巻第3号会誌の編集について最終決定を行つた(64ページ)。

4. 会誌抄録委員会(昭.31.2.8)出席者:左合委員長,樋口,平嶋,久野,加藤,中村,稲田,嶋の各委員,千秋幹事,徳平編集幹事,岡本編集部員。議事:1)第41巻第3号抄録について,2)抄録に関する方針,内規等審議。

5. 第32回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.31.2.9)出席者:吉田委員長,平井(代伊藤),高坂,宮沢(代高橋),坂本(代天野)の各委員,赤沢,三浦(代近藤),川口,深谷,松本の各幹事。議事:2章1条~9条逐条審議。第33回同委員会(昭.31.2.24)出席者:吉田委員長,高橋(龍),宮沢(代高橋),坂本(代町田),高坂(代尾崎)の各委員,山内,梅木(代赤沢),三浦(代近藤),川口,深谷,松本の各幹事。議事:2章版,9条~11条の審議。

6. 溶接鋼鉄道橋設計示方書委員会(昭.31.2.10)出席者:田中委員長,沼田,福田,平井(代伊藤),埴田,村上,多田,友永の各委員,西村,大谷,大宮,安浪,白石,菊池,大久保,田島,阿部の各幹事,宮崎連絡幹事。議事:5章設計細目について各条審議,補剛材取付部の許容応力について討議。

7. 土木賞推薦理由書打合会(昭.31.2.10)出席者:後藤副委員長ほか担当委員。議事:各委員の持寄つた推薦理由書について審議調整を行つた。

## 8. コンクリート示方書改訂委員会の各分科会

無筋コンクリート分科会(昭.31.2.18日,27日)

鉄筋コンクリート分科会(昭.31.2.13日,22日)

コンクリート道路分科会(昭.31.2.10日)

ダムコンクリート分科会(昭.31.2.7日,15日,23日,29日)

9. 第1回水理公式集委員会(昭.31.2.28)出席者:安芸水理委員長,本間委員長,吉川,渡辺,坂野,竹内,荒木,福岡,市浦,中山,岡田,鈴木,林,嶋,左合,大井上,徳平,浜田,井島,岸の各委員,中川書記長,捧箸主任。議事:1)安芸,本間両委員長から挨拶ののち,各部門主査から提出された目次案について審議,2)河川,発電水力,上下水道,港湾の各部会で細目案を4月末までに作制して委員会で検討して書

き初めること、3) 5月水理講演会の報告。

◎日本工学会では2月24日定例理事会を開催し、第7回工学会大会関係についてお知らせ欄のとおり決定。

◎日本学術会議から文部省科学研究費等分科審議会委員として青木楠男、矢野勝正の両氏が決定したとの通報に接した。

◎その他

1. 朝日新聞本社学芸部から朝日賞候補推薦に対し礼状に接した。

2. セメント技術協会では5月8日~12日間日本工業クラブ講堂で大会を開催するとのこと。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 役員会 (昭.31.2.7) 出席者:宮本支部長以下22名。議事:1) 技術研究会開催について、2) 昭和30年度会計中間報告並びに収支決算見込について。

2. 中部支部 第11回幹事会 (昭.31.2.7) 出席者:鈴木幹事長外16名、議事:1) 役員異動(評議員河西清君転出のため後任として高倉幹夫君を委嘱)、2) 今後の行事について(2月:名古屋市高速鉄道見学、3月:道路講習会、来年度の行事)。見学会(昭.31.2.18)名古屋市高速鉄道工事現場、経過:幸いにして晴天に恵まれ午後1時高速度鉄道栄町事務所に集合する会員約150名、井上部長の詳細な説明を受けたのち栄町現場、堀川ケーソン工事現場および名古屋駅前工事を見学し有意義に終つた。

3. 関西支部 第5回土木工事研究会 (昭.31.2.17) 参会者約200名、演題および講師は次のとおりで非常に盛況であつた。1) ウェルポイント工法(瀬古新助)、2) サンドドレン工法(松波哲夫)、電気固結法(清水勝馬)。

4. 西部支部 研究発表会 (昭.31.2.28, 佐賀市において) 聴講者130余名、講師および題目は次のとおりで非常に盛会であつた。

写真-1 西部支部研究発表会 (昭.31.2.28)



- 石黒 政義: 平均値法による自然河川の流量測定
- 山下 泰三: 低流速ゼキにおける流流係数の1例
- 松島 巖: 代建橋の模型実験
- 長安 智重: 経年40年の鉄筋コンクリート石炭枝橋を取こおして
- 伊吹山 四郎
- 小川 義秀: プレストレストコンクリートによる天井板の実験報告
- 田原 保二
- 大原 資生: 土圧計に関する実験的研究
- 川上謙太郎: 混成防波堤断面の経済的設計
- 布施敏一郎: 船舶接岸時の衝撃に関する実験報告
- 内田 一郎: 忠厚礦業所の硬山崩れ
- 吉田 弥七: 昭和30年度における九州所在工場産ポルトランドセメントの比較試験研究
- 渡辺 辰生: 関門国道トンネルのコンクリートの品質
- 彦坂 良次: 弾性連立方程式の数値計算
- 幸野 弘道: 底質が著しい軟泥よりなる場合の水深測量の合理化
- 水野 高明: 傾斜面の地盤支持力
- 徳光 善治
- 園田 頼孝: ヨナの土質学的性質(2)
- 土橋 宣夫: プレバクトの岸壁工事報告
- 橋東 一郎: 砂運を伴う掃流作用(2)
- 緒方 武人
- 吉高 益男: 小型水路の流れに及ぼす側壁の影響
- 山本 鎮人: 牛津地区道路工事
- 広門 正康: 大川橋溶接トラス

支部総会 (昭.31.2.18) 出席者約100名、次第: 1) 映画(原子力とは?, 原子力入門, 谷間の秘密)、2) 総会(a. 開会の辞 b. 支部長挨拶 c. 業務報告 d. 新支部長挨拶 e. 閉会の辞)、3) 映画(メトロ映画一花嫁の父)。昭和31年度役員改選結果報告 新支部長: 近藤 勇(福岡県土木部長)、地区常議員: 上ノ土 実(九州地建、工務部長)、田賀秀和(留任、運輸省第四港湾建設局次長)、坂田静雄(留任、福岡県土木部河川課長)

昭和31年2月分入退会報告 (昭.31.2.1~2.29)

1. 入会	88名(正23, 准18, 学生47)
2. 退会	19名(正10, 准9)
3. 転格	2名(准から正へ2)

会員現在数 (昭.31.2.29.現在)

名譽員	賛助員	特別員	1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加
19	30		29	71	126	5137	5790	1308	12510	69

昭和31年3月10日印刷 土木学会誌 第41巻 第3号 定価100円  
 昭和31年3月15日発行

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美  
 印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大沼正吉  
 印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社技報堂

東京中央郵便局区内 千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20) 3945番  
 4078番

発行所 社団法人土木学会 振替東京16828番